

セブン&アイ・フードシステムズの運営する飲食店へバーコード決済サービスを導入

2021.09.28 10:00

インコム・ジャパン株式会社

インコム・ジャパン株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役：荒井 琢磨、以下インコム・ジャパン)は、2021年9月28日(火)より株式会社セブン&アイ・フードシステムズ(本社：東京都千代田区、代表取締役：小松 雅美)が展開する飲食店事業の「デニーズ」「ポッポ」「白ヤギ珈琲店」「麴町珈琲(麴は旧字体)」「太陽のグリル」の353店舗※(以下、セブン&アイ・フードシステムズが展開する店舗)のPOSレジ端末にて全9種類のバーコード決済サービスの取扱いを開始したことをお知らせいたします。



セブン&アイ・フードシステムズが展開する店舗では、これまでPOSレジ処理とは別に店舗側が提示しているQRコードを利用者が自分のスマートフォンの決済アプリで読み取る方式でバーコード決済を運用していました。その為、POSレジ処理との売上金額の相違、決済に時間がかかる等のレジ運用面での業務課題がありました。また新型コロナウイルス感染拡大後、日本国内でも『新しい生活様式』が広がり、人を介した決済手段に対して不安を抱く方も増えてきております。今回インコム・ジャパンが提供するPOSレジ処理のみでバーコード決済が完結する決済システムを採用することで、各店舗でのキャッシュレス決済環境を整備し、レジ業務の効率化を図っております。これによりお客様にとって「便利」で「安全・安心」なサービスの提供が可能となりました。

※353店舗以外の店舗においては、POSレジ端末とは別の決済手段にてバーコード決済のご利用が可能となります。

◇取扱いが開始されるサービス

PayPay、d払い®、au PAY、楽天ペイ、LINE Pay、メルペイ、
ゆうちょ Pay、Alipay、WeChat Pay

上記のうちd払い®、au PAY、楽天ペイ、LINE Pay、メルペイ、ゆうちょ Pay、Alipay、WeChat Payについては、今回新たにセブン&アイ・フードシステムズが展開する店舗で取扱いが可能となるサービスです。

<インコム・ジャパン株式会社について>

米国アトランタに本拠を置く POSA カード流通事業者の日本法人です。POSA カードの特許技術を複数有しており、国内の総取扱店舗数は約 65,000 店舗、コンビニエンスストアやドラッグストア、家電量販店、スーパー、ディスカウントストア等、いずれも国内屈指の大手小売企業の POS レジシステムと接続することで POSA 事業を展開しています。2017 年 1 月に、POSA 事業の技術とシステム資産を活用し、POS レジでの QR/バーコード決済のアクワイアリング事業に参入しました。今後、更なるラインナップと機能を加盟店に提供していく計画となっており、国内外の多くの決済事業者と調整しております。

◇インコム・ジャパン会社概要

設立：2008 年 1 月

代表取締役：荒井 琢磨

所在地：東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 41F

◇セブン&アイ・フードシステムズ会社概要

設立：2007 年 1 月

代表取締役：小松 雅美

所在地：東京都千代田区二番町 4 番地 5

※「POSA」はインコム・ジャパンの登録商標です。

※本プレスリリースに記載されている社名・サービス名等は、各社の商標または登録商標です。

<本件に関するお問合せ先>

◆インコム・ジャパン株式会社 ファイナンシャル・サービス 担当：岩内

TEL：03-6279-4881

E-Mail：incomm-japan-fs@incomm.com